

「魚取りと植物観察」

高尾森林ふれあい推進センター森林ふれあい推進事業（協定イベント）

実施主体：森とでんえん倶楽部

近頃、子ども達は外で遊ぶことが少なくなっています。森とでんえん倶楽部では、高尾森林ふれあい推進センターの協力を得て、高尾山日影沢キャンプ場で体験活動を始めて10年になります。開始以来、自然に親しみ、「魚取りと植物観察」、「草木染と植物観察」、「ハイキングと植物観察」などの体験に取り組んでいます。各イベントは、小学生の親子が対象で、技術指導は森林インストラクターが行います。

「魚取りと植物観察」は、夏休みの間に行うことから、とても人気が高いため、今年度は8/2（土）・3日（日）の2日間、それぞれ50名ほどに参加いただき開催しました。

魚取りは、日影沢キャンプ場に隣接する河川に魚を放し、これを参加者が手づかみし、捕った魚の命をいただくことを知っていただきます。魚ぎらいのお子さんも、イベントで食べる魚は美味しいと評判です。なお、河川の使用や魚づかみ等については、関係地方自治体の許可をいただいて開催しています。



植物観察は、季節に応じて、咲く植物の花や実を捜したり、臭いのする葉など特徴の有る植物を観察したり、ときには沢でカニを見つけるのも人気の一つになっています。最後に“植物観察をして樹木博士になろう！”と題して、質問を出した葉っぱを捜すゲームを行い、木の名前やその特徴を知ってもらっています。



子どもの頃の体験が大人になって、どんな形で花が咲くか楽しみです。